このたびは、インディペンデントウオッチをお買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保存し必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

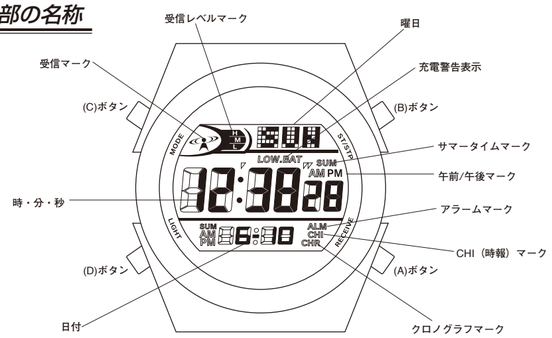
⚠ このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

■商品の特徴

この時計は、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させる光発電機能と、自動的に電波を受信して時刻を修正する電波受信機能を持っています。その他、暗い所でも見えるＬＥＤ照明付き、2カ国の時刻を表示するデュアルタイム機能を持っています。

●電波は日本の標準電波のみを受信します。
（海外の電波は受信できません）
●電波時計は、人体や医療機関への影響は一切ありませんので、安心してご使用ください。

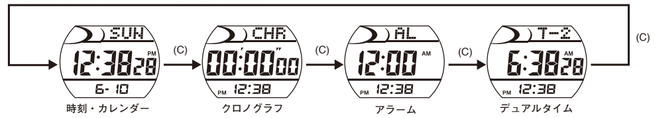
■各部の名称



※お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストが異なる場合があります。

■モード切り替え

この時計は図の機能(モード)を持っています。
(C)ボタンを押す毎に図の順でモードが切り替わります。



※アラームモード表示中に約2分間ボタン操作が行われないと、自動的に時刻・カレンダーモードに切り替わります。

■オールリセットについて

4つのボタンすべてを同時に押すと全画面点灯し、その後いずれかのボタンを押すとオールリセットされます。
静電気や強い衝撃等により時計が異常な表示や動作をした場合、オールリセットを行った後に基準位置修正を行ってください。
【注意】オールリセット後は、各モードの設定は初期値にもどりますので再設定してください。

■アラーム・時報の使い方

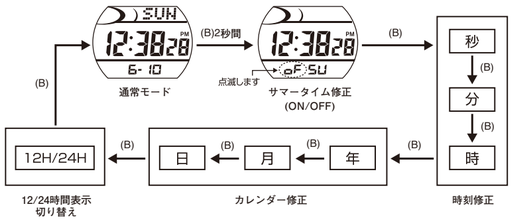
<セットの仕方>
1. (C)ボタンを押してアラームモードにします。
2. (A)ボタンを押すことで、『アラームON、時報OFF』→『アラームON、時報ON 』 →『アラームON、時報ON 』に切り替わります。
3. (B)ボタンを2秒押すと時刻が点滅し、(A)ボタンで修正できます。
点滅中､(B)ボタンを押すことで(時→分)の順に切り替わります。
4. 分修正後に(B)ボタン、または(C)ボタンを押すと点滅が止まり、修正完了です。

※“時刻・カレンダー”および､“デュアルタイム”モードでサマータイムＯＮにした場合、アラーム時刻へは反映されません。
※アラーム修正中に約2分間ボタン操作が行われないと、自動的にアラーム通常モードに切り替わります。

■手動による時刻とカレンダーの合わせ方

電波が届かない地域でご使用される場合は、手操作で時刻やカレンダーを合わせることができます。

<操作方法>
1. (B)ボタンを2秒間押すと修正モードに切り替わります。
修正箇所は点滅して表示されます。
2. (B)ボタンを押す毎に図の順で修正モードが切り替わります。
3. 点滅中に(A)ボタンを押すことで修正できます。
※修正中に約2分間ボタン操作が行われないと、自動的に通常モードに切り替わります。

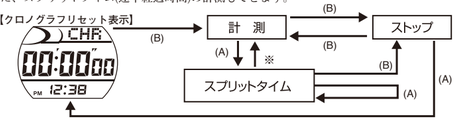


■LED照明について

(D)ボタンを押すとLED照明が2秒間点灯します。ただし、下記のときには点灯しません。
※時刻カレンダー修正時、デュアルタイム修正時、アラーム時刻設定時、2秒運針中

■クロノグラフの使い方

このクロノグラフは1/100秒単位で最大“23時間59分59秒99”まで計測表示ができます。
24時間計測終了後はリセット表示にもどり停止します。
また、スプリットタイム(途中経過時間)の計測もできます。



※10秒間ボタン操作が行われない場合、計測状態にもどります

<計測の仕方>
1. (C)ボタンを押してクロノグラフモードにします。
2. (B)ボタンを押すとスタートし、計測中に(B)ボタンを押すとストップします。
(B)ボタンを押すたびにスタート／ストップを繰り返します。
3. ストップ中に(A)ボタンを押すとリセットします。

<スプリットの計測の仕方>
クロノグラフ計測中、(A)ボタンを押す毎に最新のスプリットタイムを10秒間表示します。
表示している間はCHRマークが点滅します。

※クログラフ計測中でも(C)ボタンを押すと、モード切り替えが可能です。再びクログラフにもどせば、計測の続きを表示することができます。ただし、計測が24時間を超えた場合はリセット表示にもどります。

☆スプリットタイムとは：スタート地点からの途中経過時間のことです。

■充電時間の目安

時計のモデル（文字板色など）によって充電時間が異なります。あくまで目安としてご利用ください。
＊充電時間は連続照射時間です。

照度 (lx)	環　境	充電時間（約）		
		1日分の充電時間	停止状態から1秒運針するまでの時間	フル充電までの時間
500	屋内照明	7時間	――	――
1,000	蛍光灯（30W）の下60～70cm	3.5時間	――	――
3,000	蛍光灯（30W）の下20cm	1.5時間	120時間	――
10,000	曇天	20分	35時間	170時間
100,000	夏の日の直射日光下	2分	4時間	17時間

フル充電時間：時計が停止している状態から最大に充電されるまでの時間。
1日分の充電時間：時計が1秒運針のときに1日動かすのに必要な充電時間。

■電波受信

<受信可能地域の目安>
この時計は標準電波の受信局自動選択機能付きです。受信可能地域の目安は次の通りです。ただし、日の出、日の入りの時間帯や季節の変化、天候（落雷など）により、電波状況は変化します。
受信可能地域はあくまでも目安ですので、図の範囲でも受信できない場合があります。

<電波送信所>
・おおたかどや山標準電波送信所（福島局）
・はがね山標準電波送信所（九州局）

電波時計で利用している標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが、保守点検等で送信が中断されることがあります。
標準電波が受信できない場合でも、時計は月差±15秒以内の精度で動きます。

<上手に受信するために>
・この時計は、時計内部に電波受信用のアンテナ(12時位置側)が組み込まれています。上手に受信するためには、時計を腕から外し、時計の12時位置を電波送信所の方向へ向け、窓際などの電波が受信しやすい安定した場所に置き、受信中は時計を動かさないでください。

・環境によって受信レベルが変わります。時計の受信レベル「H、M、L」を参考に、何度か時計の向きや場所を変えて受信を行い、受信レベルが「H」か「M」を指す受信しやすい場所および方向を探してください。

<受信が困難な場所>
◆極端に高温や低温の場所　◆鉄筋コンクリート等の建物の中および地下
◆車、電車、飛行機の中
◆高圧線（電線）、電車の架線、飛行場（通信施設）の近く
◆通話中の携帯電話の近く
◆テレビ、冷蔵庫、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やＯＡ機器の近く

<受信の方法>
電波の受信方法は、定時受信、強制受信、復活自動受信の３つの方法があります。
受信は“時刻・カレンダー”および“デュアルタイム”モードでできます。

定時受信（自動受信）
毎日午前2時に受信を行い、受信ができなかった場合は再度午前4時に自動的に受信を行います。

アンテナ位置12時

強制受信（手動受信）
いつでも受信ができます。

復活自動受信
充電不足で電池が止まった後、時計に光を当てて十分に充電すると、一度だけ自動的に受信を行います。
充電不足にならないよう、常に充電を心がけてご使用ください。
また、ホームタイム状態、デュアルタイム状態のときに(A)ボタンを押すと、受信されたときの受信レベルが表示されます。
もう一度(A)ボタンを押すと受信レベルが消灯します。

※オールリセットを行った後、自動的に受信を開始します。
※受信中にアラームや時報が重なった場合、受信を一度停止してから鳴ります。
鳴り終わったら自動的に再受信を行います。

<受信の手順>
1. (A)ボタンを2秒以上押し続けると、電子音が鳴り、画面の受信マークが点滅したら離してください。
2. 時計の12時位置を電波送信所方向に向け、窓際等の電波を受信しやすい安定した場所に置いてください。

また、電波の受信感度は以下のようにレベル分けされます。

※当日の天候やノイズ状況により、受信にかかる時間が約2分～最大約18分かかることがあります。
また、受信中に受信を中止させたいときは、(A)ボタンを3秒以上押し続けます。

<受信結果の確認>
受信に成功した場合、電子音が鳴り、受信マークが点灯します。
点灯しなかった場合は、受信に失敗していますので、電波を受信しやすい場所に移動して再度受信してください。
(定時受信の開始および終了時には、電子音は鳴りません)

《電波を正しく受信しても、受信環境や時計内部処理により、時刻表示にわずかなずれが生じます。》

■ソーラーパワーウオッチ特有の機能について

この時計は、充電不足になると表示が次のように切り替わります。

充電警告機能
充電不足になると、画面の「LOW.BAT」が点滅して充電不足をお知らせします。この時、アラームやクロノグラフ機能はご利用になれません。

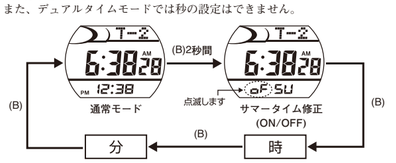
パワーセーブ機能
文字板に光が当たらない状態が30分続いた場合は、表示が消えてパワーセーブ(節電状態)になります。このとき、アラーム、クロノグラフは通常通り機能します。

過充電防止機能
文字板に光が当たり、フル充電になると、それ以上充電しないように自動的に過充電防止機能が働きます。

<パワーセーブの解除方法>
時計の表示面に光を当てるか、いずれかのボタンを押せば、パワーセーブが解除されます。
パワーセーブ中でも時計内部では正しい時刻を刻み続けています。

■デュアルタイム機能の使い方

<操作方法>
1. (C)ボタンを押してデュアルタイムモードにします。
2. (B)ボタンを2秒間押すと、修正箇所が点滅します。
3. (B)ボタンを押す毎に、図の順で切り替わります。
4. 分修正後に(B)ボタン、または(C)ボタンを押すと点滅が止まり、修正完了です。
※修正中に約2分ボタン操作が行われないと、自動的に通常デュアルタイムモードに切り替わります。
また、デュアルタイムモードでは秒の設定はできません。



■二次電池の交換について

⚠ **警告**　二次電池の取り扱いについて
◆お客様は時計から二次電池を絶対に取り出さないでください。やむを得ず電池を取り出した場合は、誤飲防止のため幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談して治療を受けてください。
◆一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因になりますので、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

⚠ **警告**　指定の二次電池以外は使用しないでください
◆他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しません。無理に一般の銀電池を使い充電されると、過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があるますので、絶対に行わないでください。

⚠ **注意**　充電上の注意
◆高温下（約60℃以上）での充電は避けてください。外装部品の変色、変形およびムーブメント部品の故障などの原因となります。
例）・白熱灯、ハロゲンランプなど高温になりやすい光源に時計を近づけての充電。
・車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電。
◆白熱灯、ハロゲンランプなど高温になりやすい光源で充電するときは、必ず50cm以上離して、時計が高温にならないように注意して充電してください。

■受信困難なお客様へ

受信に関しては、そのときの気象状況や電波環境の影響を受けます。『電波受信』をお試しいただいても、万一受信に成功されないという方には、電波送信所からの電波進入方向を示した地図をお作りするなどのサポートをしています。
受信が困難なお客様は『シチズンお客様時計相談室』へお問い合わせください。なお、お客様からお預かりした個人情報は、受信に関するサポートのみに使用し、それ以外の目的には使用いたしません。

■保証とアフターサービスについて

1. 保証について
正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。
2. 修理用部品の保有期間について
当社は、時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・バンドなどの外装部品については、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。
3. 修理可能期間について
当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。
4. ご転居・ご贈答品の場合
保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。
5. 定期点検(有償)について
安全に永くご使用いただくために、2～3年に一度点検（有償）を行ってください。
防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行ってください。
部品交換の際は、純正部品とご指定ください。交換だけでなく他の部品の点検または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。
6. その他お問い合わせについて
保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または、最寄りの弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

■お取り扱いにあたって

⚠ **警告**　防水性能について
- 日常生活用防水時計（3気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- 日常生活用強化防水時計（5気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンダイビング）などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計（10／20気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

防水性について
- 時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、図を参照して正しくご使用ください。

⚠ **注意**
- りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうずやボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。
水の中で使うことが多い日常生活用強化防水時計の場合は脱色、接着はがれなどの不具合を起こすことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド（金属製またはゴム製）にお取り替えの上、ご使用ください。
- 日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。
- 万一、時計内部に水が入ったり、また、ガラス内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、最寄りの弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、ボタンなど）が外れる危険があります。

（barは約１気圧に相当します）

名称	表示 文字板又は裏蓋	仕様	使用例 水がかかる程度の使用。(洗顔、雨など)	水仕事や、一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT)	3気圧防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	5気圧防水	○	○	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10気圧防水 20気圧防水	○	○	○	×	×

＊WATER RESIST(ANT)△△barはW.R.△△barと表示している場合があります。

⚠ **注意**　携帯時の注意
- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど充分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、充分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ウレタンバンドは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。

⚠ **注意**　バンドのお取り扱いについて（着脱時の注意）
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

⚠ **注意**　時計は常に清潔に
- ケースとりゅうずの間にゴミや汚れが付着したまま放置しておくと、りゅうずが引き出しにくくなることがあります。時々はりゅうず通常位置のままでりゅうずを空回りさせてゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれを生じることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止してすぐに医師に相談してください。

かぶれの原因は
1. 金属、皮革アレルギー
2. 時計本体及びバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。

- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。

〈時計のお手入れ方法〉
- ケース、ガラスの汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取ってください。
- 皮革バンドは乾いた布で、汚れを取ってください。
- 金属バンド／プラスチックバンド／ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- 溶剤類（シンナー、ベンジンなど）の使用は、変質の恐れがありますのでお避けください。

夜光について
時計の文字板や針には、放射線物質などの有害物質を一切含まない人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。
この塗料は、太陽光や室内照明などの光を蓄え、暗い所で発光します。
- 蓄えた光を放出していくと、少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、照射時間、蓄光塗料の量などによって発光する時間に誤差が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合があります。ご注意ください。

温度について
- −10℃～＋60℃の温度範囲外では機能が低下したり、停止することがあります。製品仕様範囲外でのご使用はお避けください。

磁気について
- アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

静電気について
- クオーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

ショックについて
- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。

化学薬品・ガス・水銀について
- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。
シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

保管について
- 長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。
- 時計を長時間ご使用にならない場合、できるだけ光が当たる場所で保管することをおすすめします。また、りゅうずを時計合わせ位置に引き出した状態で保管すると持続時間が長続きします。

■製品仕様

1. **機種**：D362
2. **型式**：デジタルソーラーパワーウオッチ
3. **時間精度**：平均月差±30秒
常温（＋5℃～＋35℃）携帯時
4. **作動温度範囲**：0℃～＋55℃
5. **表示機能**：
デジタル表示…・時刻：時、分、秒、AM、PM
・カレンダー：月、日、曜日
(2099年までのフルオートカレンダー)
・クロノグラフ：24時間計（1/100秒単位）、
・スプリットタイム
・デュアルタイム：デュアルタイムの時、分、秒およびホームタイムの時、分、秒
6. **付加機能**：
・電波受信機能(定時受信、強制受信、復活自動受信)
・受信局自動選択機能(日本電波のみ)
・受信中レベル表示機能
・受信結果確認機能
・アラーム機能
・時報機能
・LEDライト機能
・光発電機能
・パワーセーブ機能
・デュアルタイム機能
7. **使用電池**：二次電池　1個
8. **電池寿命**：
・フル充電から約1年(パワーセーブが作動しないとき)
・充電から約2.5年(パワーセーブが作動しているとき)

*製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

メモ欄

ID004